



横浜市立上矢部小学校 学校だより

令和3年5月31日

やまゆり



学校教育目標 **大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ**

HPアドレス www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/

☆欠席連絡は、マチコメールか、連絡帳をお願いします ☆朝学校に着くのは、8:10~8:20までの間です

☆登下校は決められた通学路以外使いません ☆帰宅後の外出は5時までです ☆放課後の学校への電話連絡は18時までをお願いします



子どもたちの“きらきら”がいっぱい！ ～「自尊感情」を育むことの大切さ～

副校長

「がんばれー!」「だいじょうぶ?」「すごい!」「がんばったね。」5月の爽やかな青空の下、子どもたちのすてきな言葉が飛び交っていました。友達同士で励まし合い、頑張りを称え合う姿に、職員室の窓から見ていた私も胸が熱くなりました。これは、5月11日から実施した「体力テスト」でのひとこまです。「体力テスト」は、たてわり学年で取り組んでいます。記録を書いてあげたり次の種目の場所まで誘導してあげたりと、上の学年の子が下学年の子のフォローをしながら進められていきます。また、朝時間に行っている「たてわり遊び」では、同じように上の学年の子どもたちが、「グループのみんなが楽しく遊べるようにするためには・・・」「みんなを笑顔にするためには・・・」と相手意識・目的意識をもちながら計画を立てます。実施後には、「みんな楽しそうに遊んでいたのが嬉しかった。」「笑顔がいっぱい見られたから次回もがんばりたい。」「次回はもっとこうしていこう。」など、しっかりと活動の振り返りを行い、次につながる努力をしています。このような異学年集団による活動は、相互の関わりの中で、「頼りにされる(頼りにする)」「面倒をみる(面倒をみてもらえる)」「名前を覚える(覚えてもらえる)」「こんなお兄さんお姉さんになりたいと思われる(なりたいたいと思う)」など、子どもたちの自己有用感、自己肯定感がぐっと高まる場面(きらきら)がいっぱい見られます。

先日、令和3年度の学校説明会用資料として、学校ホームページに「学校経営方針」をアップいたしました。本校では、今年度も子どもたちの「自尊感情」の高まりにつながる教育活動を大切にしていきます。自尊感情とは、「自分を大切に思う気持ち」と捉えています。例えば、自分を好きということ。自分を肯定すること。自分を認めること。自分を受け入れること。自分を許すこと。自分をいたわること。自分を信じること。自分のすばらしさをわかっていること。等々、さまざまな「自分に対する前向きな感情」(自己尊重感)をどれだけ多くもつことができるかが、子どもの健全な心と体を育むために重要なことだと思います。まさに、前述の「たてわり活動」は、仲間との関わり合いや学び合いの中で、こうした感情が育っていく絶好の場と言えます。自尊感情を育む最も大切なことは「ほめる」ことです。以前に、人権教育の講演会で講師の方が、「ほめるポイント」について次のようにお話をされていました。

・普段やっていること、当たり前と思っていることをほめる。・「ありがとう」と言えること、感謝できることをほめる。・「ごめんなさい」と言えること、まちがいを認められることをほめる。・結果だけではなく、プロセスをほめる。・できることだけでなく、今できなくてもこうしたいと思っているプラスの思いをほめる。・愛すること、好きだと感じることを、肯定的な感じ方をほめる。・弱さや欠点を受け入れられることをほめる。・生きているだけで「ありがとう」、今ここに生きていることを、まずほめる。

子どもへの教育は、学校だけでは成立しないと考えます。「学校」と「家庭」の「両輪」がうまく回転することによって、より強く前に進む力(教育力)が生まれるものと思います。

新型コロナウイルス感染症の終息がいまだ見通せない状況が続いておりますが、上矢部小の子どもたちのために、教職員一丸となって安全・安心に配慮しながら教育活動を進めてまいります。保護者の皆様とともに、力強い両輪で前進していきましょう。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。